

お知らせ

令和6年11月6日14:00

■同時発表先：島根県政記者会
出雲市政記者クラブ

令和6年11月1日からの降雨における 斐伊川放水路、尾原・志津見ダムの効果について【速報】

令和6年11月1日からの前線にともなう降雨の影響で、斐伊川流域では降り始めからの流域平均累加雨量が185.6mmを記録しました。

今回の出水では一連の降雨により、令和6年11月2日に斐伊川放水路へ最大約660m³/sを分流しました。

(平成25年6月完成以降通算で19回分流(令和6年11月6日時点))

斐伊川では、斐伊川放水路と尾原ダム・志津見ダムを運用することにより、斐伊川下流(灘分)で128cm、松江地点(宍道湖)で16cmの水位低減効果があったと推定され、灘分水位観測所では堤防決壊の危険性が高まる計画高水位超過を回避しました。

また神戸川では、志津見ダムの運用と河川改修により、馬木地点にて10cmの水位低減効果があったと推定されます。

※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

斐伊川放水路分流堰付近(左:平常時、右:11/2 13:30頃)

斐伊川水系 斐伊川 左岸 14.6k



島根県出雲市大津町 分流堰左岸上流

斐伊川水系 斐伊川 左岸 14.6k



島根県出雲市大津町 分流堰左岸上流

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技)

やまがた こういち
山形 浩一

総括保全対策官

さなだ じゅんじ
真田 淳二

【担当】流域治水課長

あごう かずふみ
吾郷 和史

(出水の概要に関すること)

管理第二課長

やました こういちろう
山下 幸一郎

(施設整備効果に関すること)

0853-20-1761 (流域治水課直通) 0853-20-1754 (管理第二課直通)

〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町5-1 電話:0853-21-1850(代表)

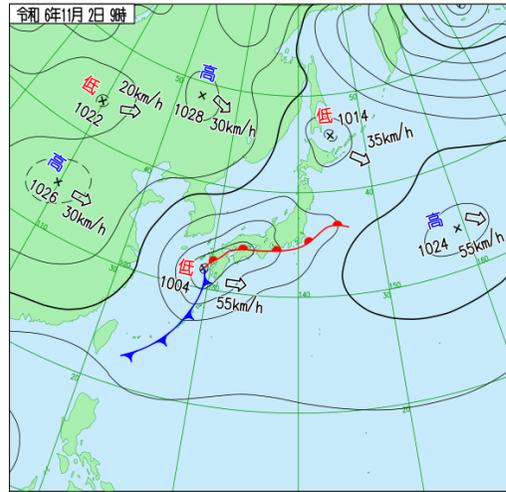
ホームページURL: <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

令和6年11月1日～2日前線に伴う降雨による出水の概要

1. 天気概況

秋雨前線や低気圧に向かって、台風21号を起源とする暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で島根県東部で11月2日の午前中を中心に強い雨が降り続いた。

■実況天気図 (気象庁ウェブサイトより)

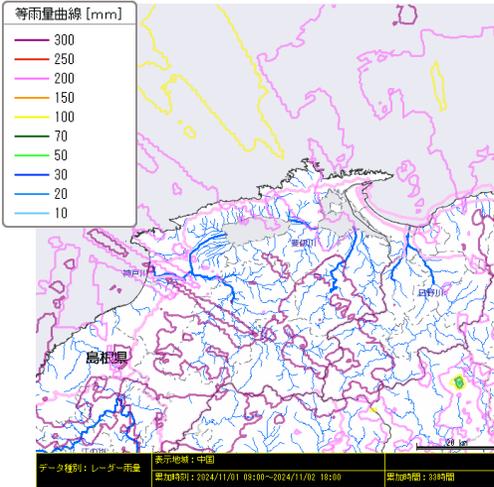


2024/11/2 9:00時点

2. 降雨状況

斐伊川流域では11月2日の午前中を中心に強い雨が降り、斐伊川流域平均累加雨量が185.6mmを記録した。

■等雨量曲線図 (国土交通省作成)



累加時刻: 2024/11/1 9:00～11/2 18:00
累加時間: 33時間

3. 出水状況

斐伊川放水路分流部(14.6k) 平常時

斐伊川水系 斐伊川 左岸 14.6k



島根県出雲市大津町 分流堰左岸上流

11/2 13:30

斐伊川水系 斐伊川 左岸 14.6k



島根県出雲市大津町 分流堰左岸上流

新伊萱観測所(24.1k) 平常時

斐伊川水系 斐伊川 左岸 24.1k



島根県雲南市三刀屋町 新伊萱水位観測所

11/2 13:20

斐伊川水系 斐伊川 左岸 24.1k



島根県雲南市三刀屋町 新伊萱水位観測所

古志大橋(8.5k) 平常時



神戸川8.5k 古志橋

11/2 13:20

斐伊川水系 神戸川 右岸 8.5k



島根県出雲市古志町 古志大橋

灘分観測所(4.1k) 平常時



斐伊川水系 斐伊川 左岸 4.1k

島根県出雲市灘分町 灘分水位観測所

11/2 16:10

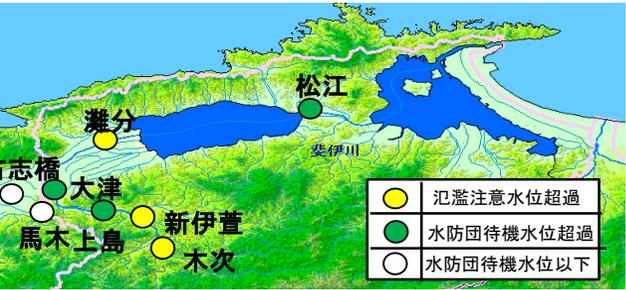
斐伊川水系 斐伊川 左岸 4.1k



島根県出雲市灘分町 灘分水位観測所

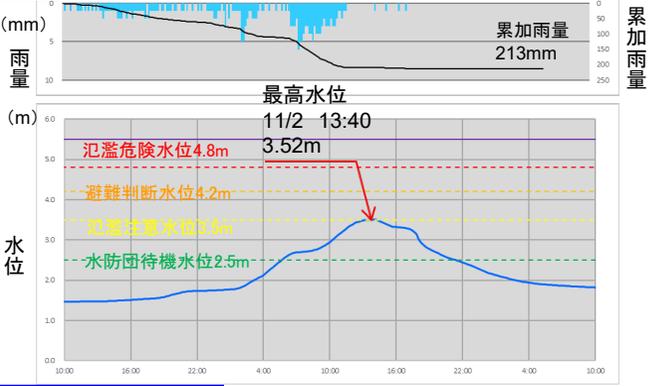
令和6年11月1日～2日前線に伴う降雨による出水の概要

4. 各水位観測所の出水状況(国管理)



今回の降雨により氾濫注意水位を超えた観測所は木次と新伊萱と灘分の3箇所。

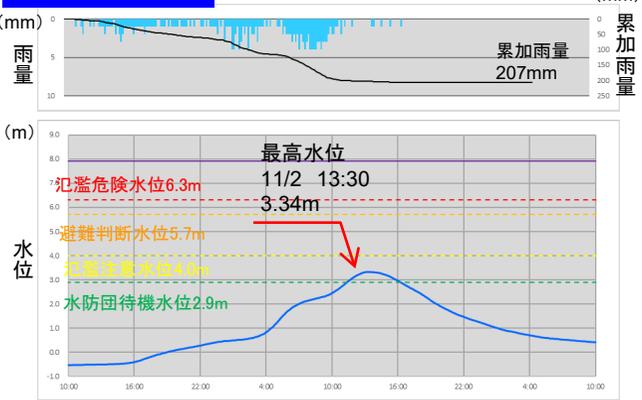
木次(斐伊川)



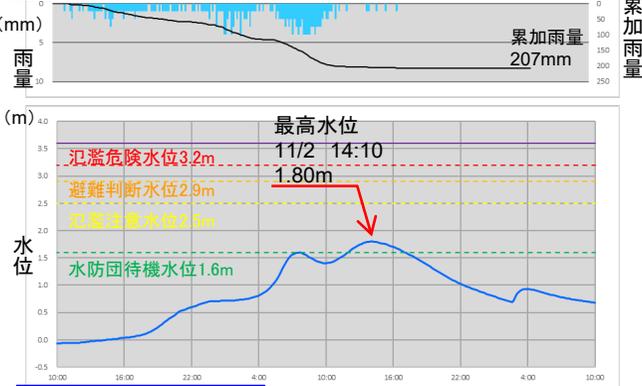
新伊萱(斐伊川)



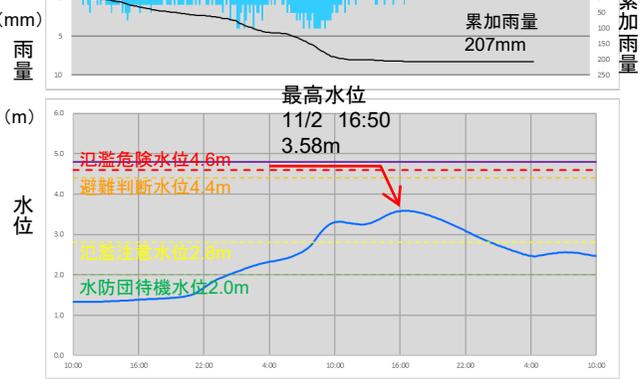
上島(斐伊川)



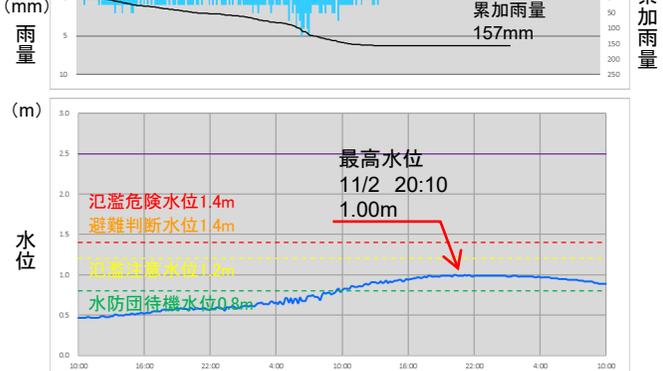
大津(斐伊川)



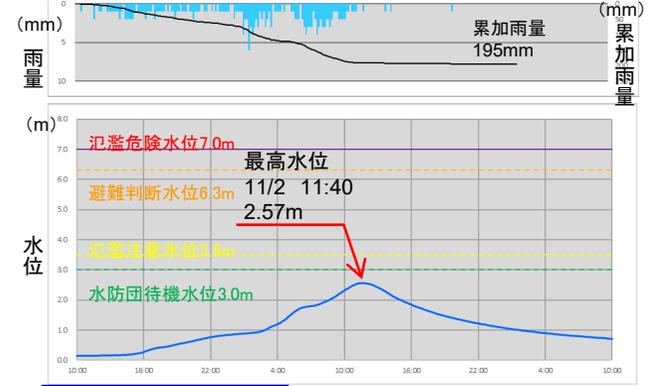
灘分(斐伊川)



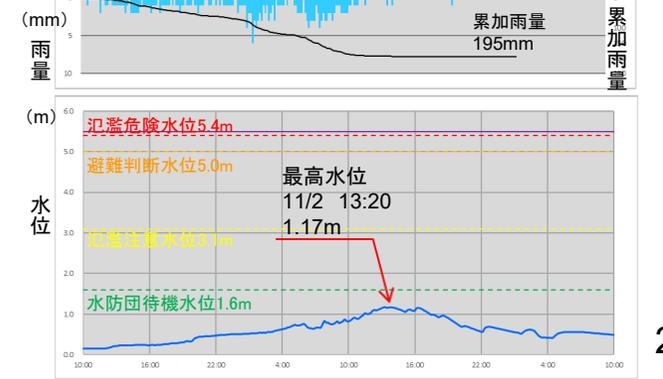
松江(宍道湖)



馬木(神戸川)



古志橋(神戸川)



令和6年11月1日～2日前線に伴う降雨による出水の概要

5. 事務所体制履歴

水防時の河川水位（高潮含む）及び尾原ダム、志津見ダム等の状況に応じて、事務所支部において注意体制、警戒体制をとっております。

日時	体制	理由
11月1日 0時20分	注意体制	灘分水位観測所の水位が水防団待機水位に達し、なお水位上昇のおそれがあるため。
11月2日 8時10分	警戒体制	灘分水位観測所の水位が氾濫注意水位に達し、なお水位上昇のおそれがあるため。
11月3日 1時30分	注意体制	灘分水位観測所の水位が氾濫注意水位を下回り、巡視の結果、異常が確認されなかったため。
11月3日 14時20分	解除	松江水位観測所の水位が0.84mまで下がり、今後水位上昇のおそれが見込まれないため。

6. 水防警報発表履歴

洪水や高潮による災害が発生するおそれがある場合に、水防団などに活動の目安となる水位等の情報を提供しました。

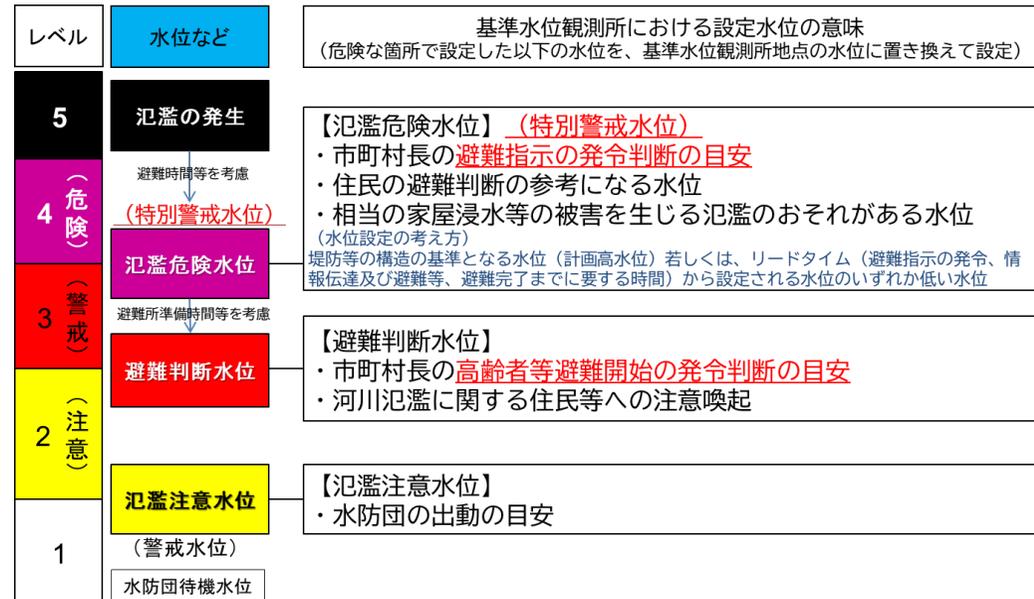
河川名	水位観測所名	待機	準備	出動	指示	解除
斐伊川	木次	11月2日 5時50分	11月2日 10時30分	11月2日 13時20分		11月2日 14時40分
斐伊川	新伊萱	11月2日 5時50分	11月2日 9時20分	11月2日 11時10分		11月2日 15時50分
斐伊川	上島	11月2日 11時40分				11月2日 16時30分
斐伊川	大津	11月2日 12時30分				11月2日 17時20分
斐伊川	灘分	11月2日 0時30分	11月2日 4時00分	11月2日 8時30分		11月3日 09時30分
宍道湖	松江	11月2日 10時30分				11月3日 14時20分

7. 洪水予報発表履歴

洪水が発生するおそれがある場合に、気象庁と国土交通省が共同で雨量や水位の情報を周知しており、この度の出水で斐伊川では、氾濫注意水位を超え、さらに水位上昇のおそれがあったため、**斐伊川氾濫注意情報**を発表しました。

予報番号	種類	発表日	発表時刻	河川名
1	斐伊川氾濫注意情報	11月2日	8時40分	斐伊川
2	斐伊川氾濫注意情報解除	11月3日	1時30分	斐伊川

参考



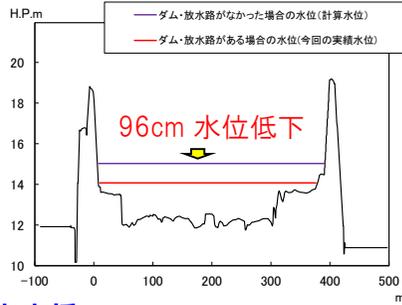
おばら しゅみん ひいかわ ほうすいる 尾原ダム、志津見ダム及び斐伊川放水路の整備効果

速報

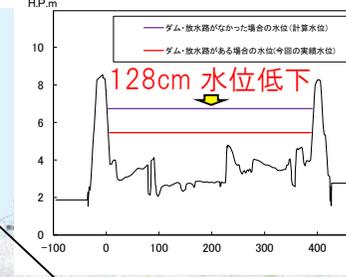
- 斐伊川放水路では、**分流を実施し、最大毎秒約660m³を分流。**
- 尾原ダムでは、**最大流入量毎秒約520m³のうち毎秒約320m³を低減し、ダム下流の木次観測所地点で、ピーク水位を41cm、新伊萱観測所地点でピーク水位を37cm、上島観測所地点で、ピーク水位を30cm低減させる効果があったものと推定。**
- 志津見ダムでは、**最大流入量毎秒約90m³のうち毎秒約30m³を低減し、ダム下流の馬木観測所地点で、ピーク水位を10cm低減させる効果があったものと推定。**
- 2ダム及び斐伊川放水路の効果により、斐伊川本川下流の灘分観測所で、**ピーク水位を128cm低減、宍道湖湖心観測所や松江観測所で16cm低減したものと推定。**

観測所名	ピーク水位低下量
木次(きすき)	41 cm
新伊萱(しんいがや)	37 cm
上島(かみしま)	30 cm
大津(おおつ)	96 cm
灘分(なだぶん)	128 cm
宍道湖(しんじこ)	16 cm
松江(まつえ)	16 cm
馬木(まき)	10 cm
古志橋(こしばし)	1 cm

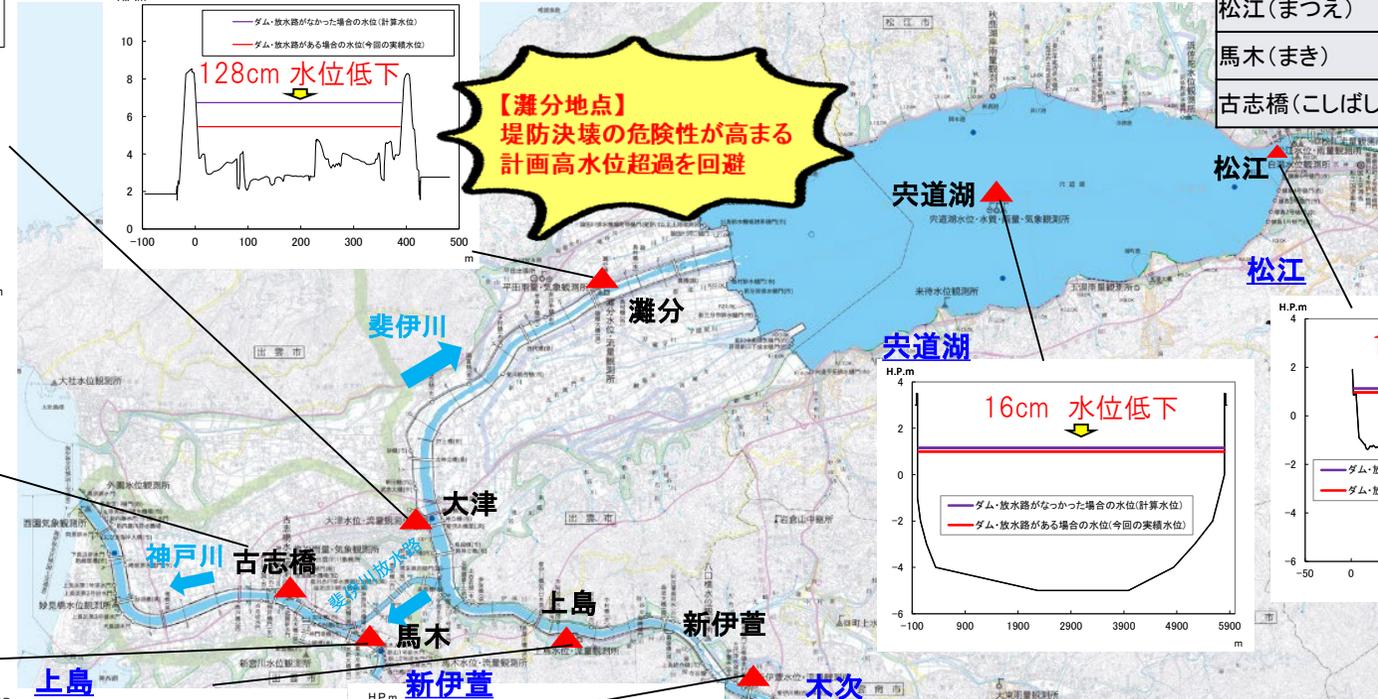
大津



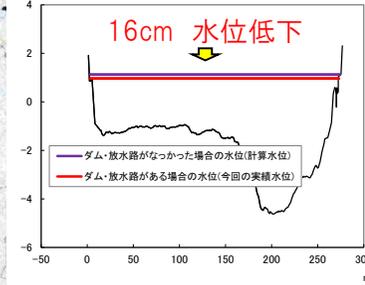
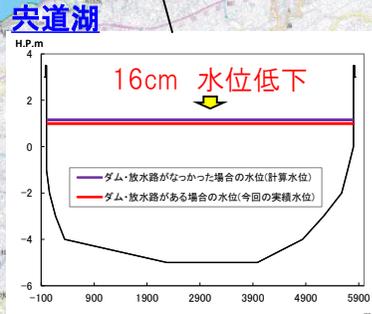
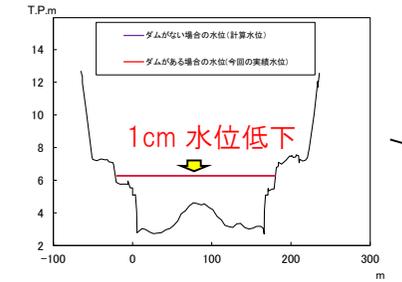
灘分



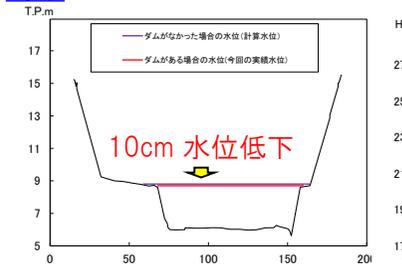
【灘分地点】
堤防決壊の危険性が高まる
計画高水位超過を回避



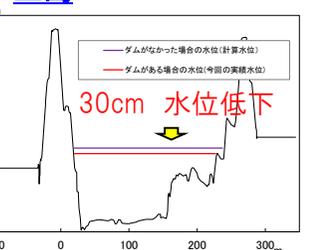
古志橋



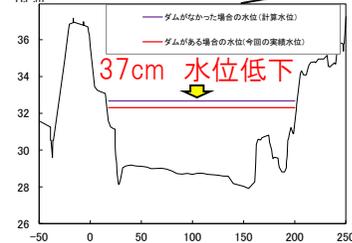
馬木



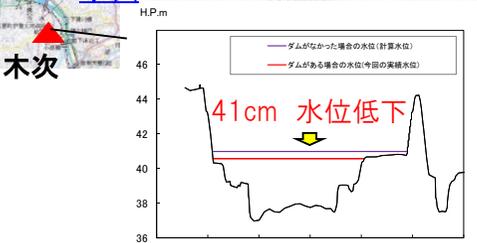
上島



新伊萱



木次



※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。
ダムなし、ダム・放水路なしの水位は推定値です。

斐伊川放水路の整備効果

○放水路の供用開始以降、これまで計19回放水路へ分流を実施。(令和6年11月3日時点)
 ○11月1日からの降雨による出水では、最大約660m³/sを分流し、斐伊川本川下流への洪水流量を低減。合流先の神戸川では、大きな水位上昇もなく、安全に洪水を流下させた。

11月1日からの降雨における斐伊川放水路の運用状況

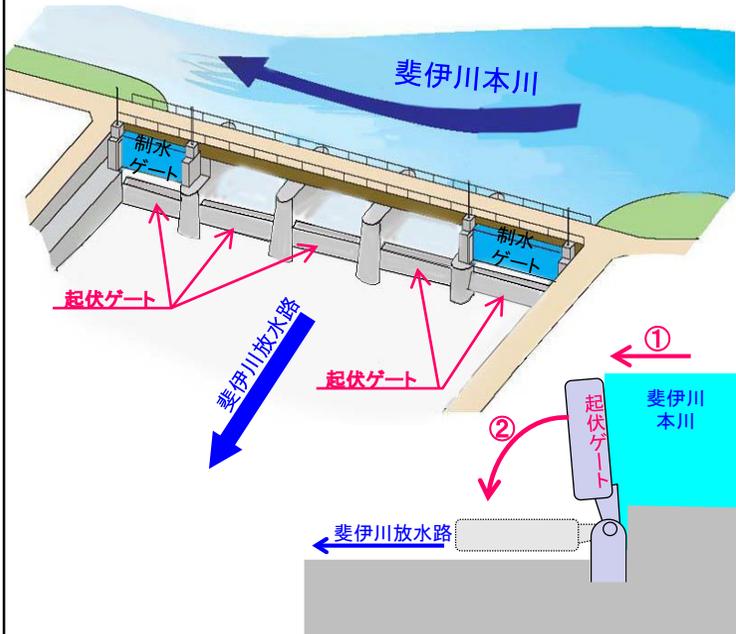
【斐伊川放水路への分流】

- 11月2日 5時03分頃 分流(自然越流)開始
- 11月2日 6時21分 分流堰起伏ゲート倒伏操作開始
- 11月3日 3時15分頃 分流終了

斐伊川放水路分流堰のゲート操作について

※分流は分流堰地点の流量が

- ①毎秒400m³程度で斐伊川放水路に越流開始します。
- ②毎秒500m³でゲートの倒伏操作を開始します。



近年の分流状況

【流量は速報値】

	分流開始	分流終了	斐伊川本川 (大津観測所) 最大流量	最大分流量 (普沢橋地点)
11回目	令和2年6月14日 17時38分頃	令和2年6月15日 3時50分頃	約580 m ³ /s	約240 m ³ /s
12回目	令和2年7月14日 0時50分頃	令和2年7月14日 18時51分頃	約590 m ³ /s	約370 m ³ /s
13回目	令和3年7月7日 10時11分頃	令和3年7月7日 10時30分頃	約370 m ³ /s	越流のみ
14回目	令和3年7月12日 12時00分頃	令和3年7月13日 6時10分頃	約1,120 m ³ /s	約810 m ³ /s
15回目	令和3年8月9日 13時13分頃	令和3年8月10日 4時27分頃	約480 m ³ /s	約240 m ³ /s
16回目	令和3年8月13日 7時48分頃	令和3年8月15日 21時26分頃	約710 m ³ /s	約510 m ³ /s
17回目	令和3年8月17日 20時08分頃	令和3年8月18日 3時20分頃	約470 m ³ /s	約160 m ³ /s
18回目	令和4年7月19日 12時10分頃	令和4年7月19日 22時00分頃	約700 m ³ /s	約240 m ³ /s
19回目	令和6年11月2日 5時03分頃	令和6年11月3日 3時15分頃	約880 m ³ /s	約660 m ³ /s



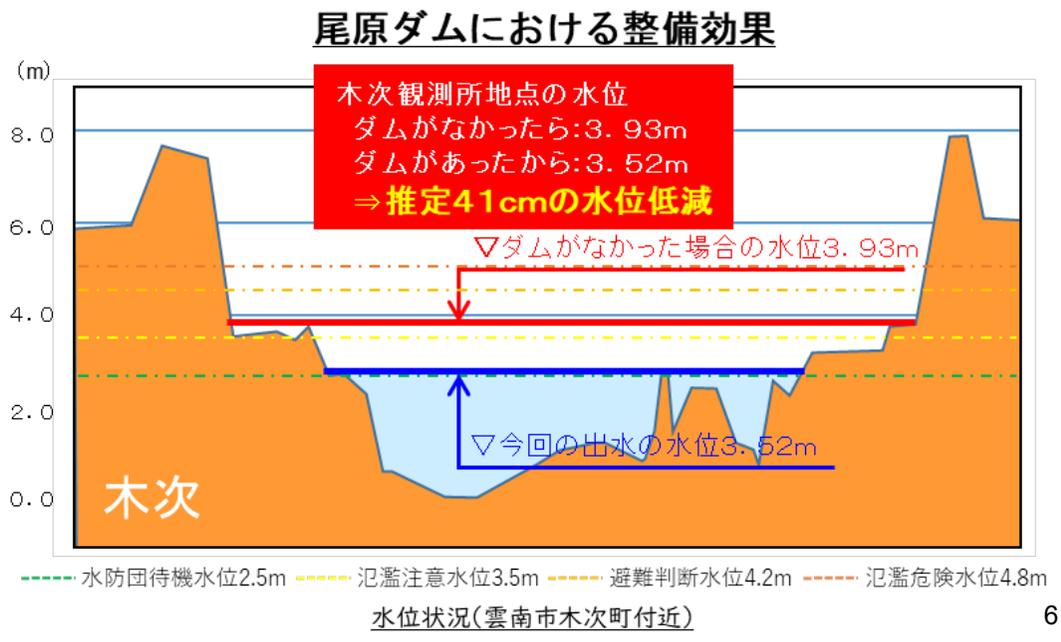
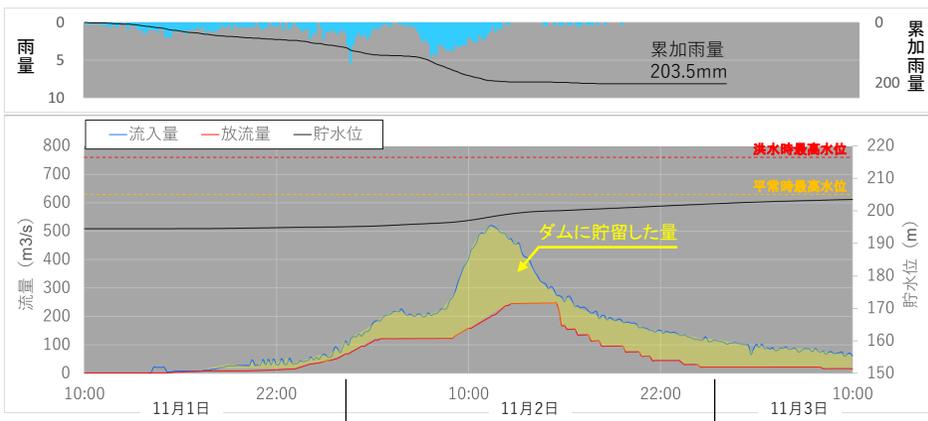
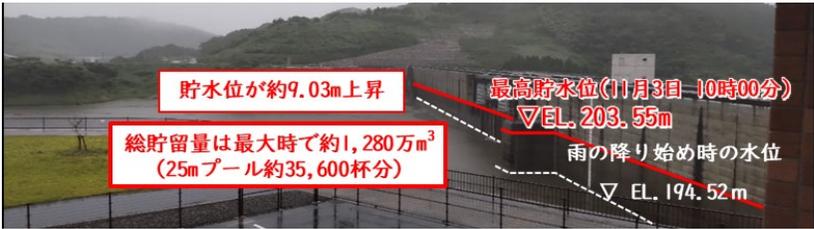
※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

尾原ダムの防災操作による治水効果

- 尾原ダム上流では、降り始めからの流域平均累加雨量203.5mmを記録しました。
 - 今回の降雨による尾原ダムへの流入量は**最大毎秒約520m³**に達し、この際**毎秒約320m³**を尾原ダムに貯留しました。今回の操作により、尾原ダムに貯留した洪水は**最大約1,280万m³**(25mプール^(※)の約35,600杯分)です。
 - その結果、尾原ダム下流の木次観測所地点(雲南市木次付近)で**ピーク水位を41cm低減させる効果**があったものと**推定**。
- (※) 小学校のプール容量：長25m×幅12m×深1.2m = 360m³として換算

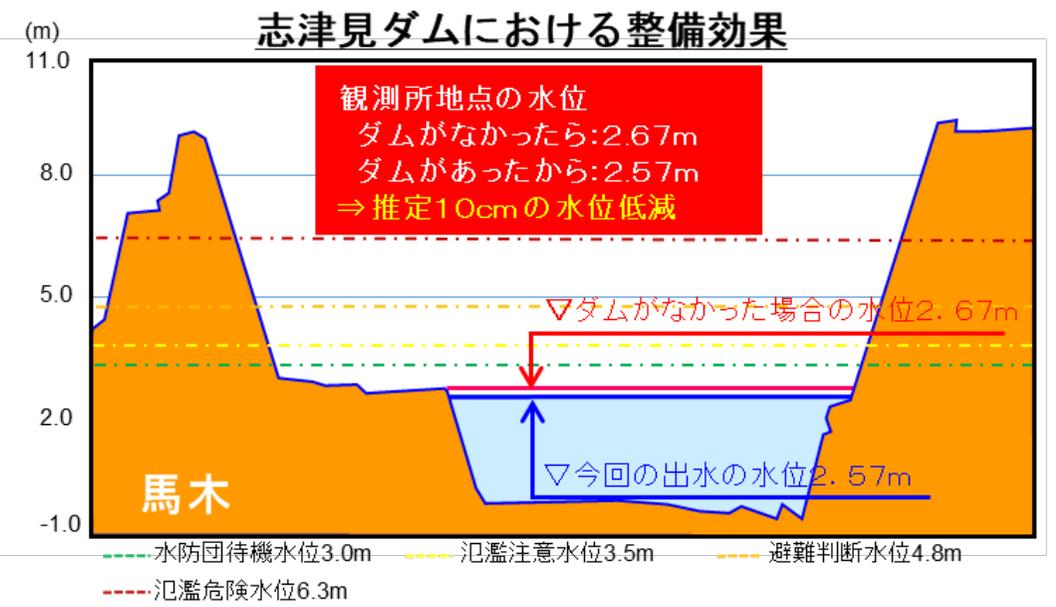
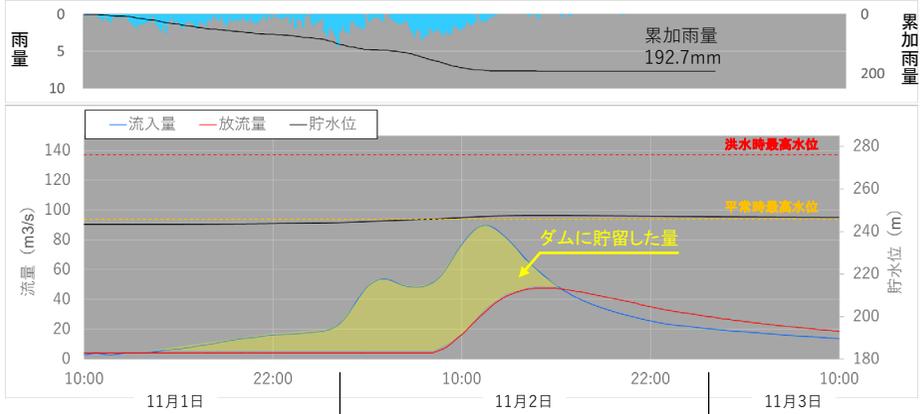
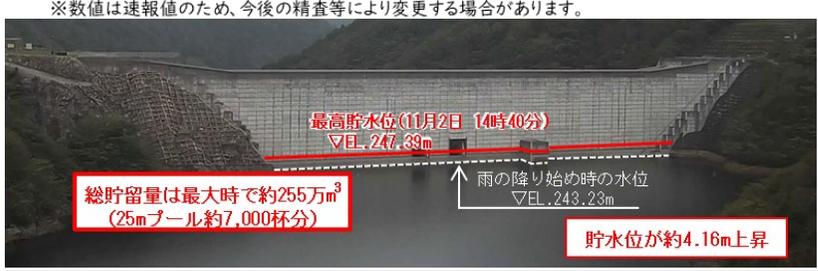


※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。



志津見ダムの防災操作による治水効果

- 志津見ダム上流では、降り始めからの流域平均累加雨量192.7mmを記録しました。
 - 今回の降雨による志津見ダムへの流入量は**最大毎秒約90m³**に達し、この際**毎秒約60m³**を志津見ダムに貯留しました。
今回の出水により、志津見ダムに貯留した洪水は**最大約255万m³** (25mプール(※)の約7,000杯分)です。
 - その結果、志津見ダム下流の馬木観測所地点 (出雲市馬木付近) で、**ピーク水位を10cm低減させる効果があったものと推定。**
- (※) 小学校のプール容量：長25m×幅12m×深1.2m = 360m³として換算



水位状況(出雲市馬木付近)